

オーディオ実験室収載

STAGE+を楽しむ(297)(HP 収載) —イツァーク・パールマンのチャイコフスキ—

1. 始めに

前報(296)に引き続き、STAGE+のイツァーク・パールマンの *Complete Recordings on Deutsche Grammophon & Decca* のアルバムの中からチャイコフスキの作品の演奏の試聴を実施します。

2. 試聴音源

今回は、STAGE+のイツァーク・パールマンの *Complete Recordings on Deutsche Grammophon & Decca* のアルバムの中からチャイコフスキの作品の演奏を選びました。

ソリスト:

イツァーク・パールマン (ヴァイオリン)

演奏:

イリア・グリンゴルツ指揮イスラエル・フィルハーモニー管弦楽団

曲目:

ピョートル・イリイチ・チャイコフスキ

Violin Concerto in D Major, Op. 35

I. *Allegro moderato*

II. *Canzonetta. Andante*

III. *Finale. Allegro vivacissimo*



3. 試聴の経過

前回に引き続き、これまでに実施してきた対策に加えて、アースアキュライザーの活用(6)で報告しましたようにアースの再構成を実施し、AV ドーナツも使用しています。さらに、スピーカーアキュライザーのマイナス端子への Crystal EpY-G の接続を継続し、PC の仮想アース Crystal E Jtune に Crystal E を連結しています。また、ルーター→スイッチングハブ間の LAN 接続に OPT ISO BOX を適用し、OPT ISO BOX の AC アダプターの DC ケーブルに FX Audio の Petit Susie Solid State を介在させてスイッチング電源からのノイズの低減を図っています。今回、スイッチングハブ→PC 間 LAN 接続は、LAN iPurifier Pro の交換に出すため OPT ISO BOX に戻していましたが、LAN iPurifier Pro の交換も間に合いましたので両者を比較します。

今回は、PC の受信から GPS-777 クロック入力の修理済の Brooklyn DAC+に送り出しています。

チャイコフスキーのヴァイオリン協奏曲はお馴染みの曲で、最初にスイッチングハブ→PC 間 LAN 接続は OPT ISO BOX で聴いておき、ついで LAN iPurifier Pro の交換機で聴いてみます。

OPT ISO BOX では、パールマンのややあらっぽいながら情熱的な演奏が感じられます。LAN iPurifier Pro に替えますと、情熱的な演奏の細部の繊細なボウイングの表現が顕在化し、同時にグリンゴルツ指揮イスラエル・フィルハーモニーの分離と協和も向上します。

なお、ときたま音切れとはいきませんが、ブツブツノイズがでますので、継続して

観察します。

4. まとめ

これまでに実施してきた対策に加えて、アースアキュライザーの活用(6)で報告しましたようにアースの再構成を実施し、AV ドーナツや Crystal EpY-G や PC の仮想アース Crystal E Jtune に Crystal E を連結し、LAN 接続に OPT ISO BOX と電源交換した LAN iPurifier Pro を適用し、Brooklyn DAC+に送り出した結果、パールマソの情熱的な演奏の細部の纖細なボウティングの表現が、OPT ISO BOX と LAN iPurifier Pro で変わってくることが分かりました。

以上